

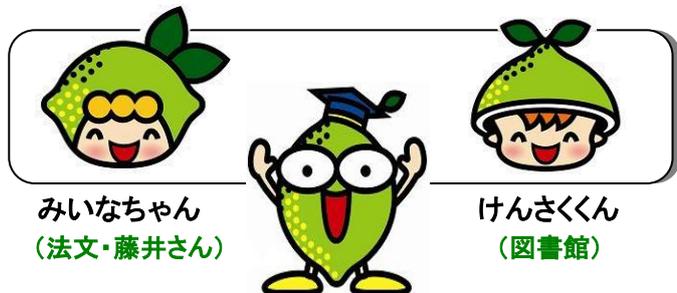


## ●図書館マスコットキャラクター

### 愛称決定！！

愛称募集にたくさんのご応募ありがとうございました。こんな素敵な名前を付けていただきました。

なお、「男の子」は「これだ！」という作品がなかったため、勝手ながら図書館で命名させていただきました。



みいなちゃん  
(法文・藤井さん)

けんさくくん  
(図書館)

ライム博士(医・金井さん・古割さん・Kさん)

## ただいまオリジナル

### グッズを作成中！

後日、応募していただいた方全員に差し上げます。楽しみに。



## ◆Contents◆

### <トピックス>

マスコットの愛称決定  
学生選書ツアー参加者募集  
情報検索講習会

### <お薦め図書>

「歴史を動かしたプレゼン」

### <つぶやきライム>

図書館猫 (Library Cat)

### <展示コーナーを利用しませんか>

## ●学生選書ツアー参加者募集

### 本の好きな人、集まれ！！

図書館の本を、学生さんの目線で選んでもらう企画です。書店に出掛けて、本を手に取りながら選んでみませんか。

このツアーは今年で6回目。過去36人の学生さんが参加し、約700冊もの本を選んでもらっています。  
今年はおあなたの番！

(昨年度の選書ツアー)

まあ、レポート作成や卒論研究で、みんなに差をつけよう。

## レポート・卒論のための情報検索講習会 (6月)

学術雑誌に収録された論文の探し方の基本を習得するコース



内 容	開催日	時 間	場 所
日本語論文【CiNii】	2日(水)	13:30~14:30	1階情報メディアルーム
英語論文【Web of Science】	9日(水)	同上	同上
日本語論文【CiNii】	16日(水)	同上	同上
文献管理【RefWorks】	30日(水)	同上	同上

\* 図書館カウンターに置いてある用紙で、開催日の前日までに申し込んでください。

## 図書館の 展示コーナーを 利用しませんか

ゼミなどの学習成果の発表や、サークルの作品発表の場として、図書館の展示スペースを提供しています。カウンターへ申し込んでください。



### <お薦め図書>

## 『歴史を動かしたプレゼン』

林寧彦著

学生時代の必修科目に「スピーチ」という授業がありました。自分でテーマを決めプレゼンをし、他の学生に評価されるのですが、順番が回ってくる度に必死になったのは、とにかく内容を制限時間内に収まるようにまとめることと、見栄えのよい資料を作ることでした。

本書で紹介されている歴史上の有名人達が、自分の夢を実現させるために行ったプレゼンのセンスと、著者がそこから導き出した「教訓」は驚きの発見でした。そして、一方的な「説得」に精一杯で、聞き手に「納得」してもらおうという発想がなかった私のプレゼンは、人の気持ちを動かせるものでは到底なかったことに今さら反省させられたのです。

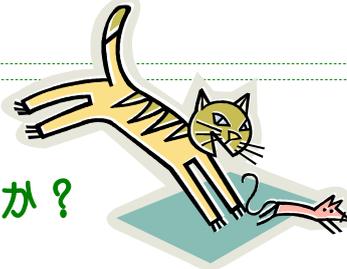
本書は、歴史読み物でありながら、効果的なプレゼンのコツも教えてくれるちょっと変わった本です。コロンブス、豊臣秀吉、大黒屋光太夫、クーベルタン男爵、四者の人となりとプレゼンのテクニックを体験することで、読者はその時代に居合わせた聞き手であるかのようにぐいぐい引き込まれ、納得させられてしまいます。次に著者がその歴史的事実を分析し、どこに学ぶべきポイントがあるのかをわかりやすくアドバイスしてくれます。そして最後に、この本自体が一つの巧みなプレゼンであること気づくのです。

学生の皆さんにとって、パワーポイントなどのツールに磨きをかけるのは重要だと思いますが、プレゼンの本質を理解することも、またコミュニケーションにおいて確かな武器となってくれることでしょう。(F)

【081/SH61-1/365 新潮新書】

### <つばやきライム(5)>

## 図書館猫を知っていますか？



「図書館猫」とはその名の通り、図書館でマスコットとして飼われている猫です。「図書館ねこデビュー」(2008)を読まれた方はよくご存じでしょう。

(この本はよく借りられています。)図書館のスタッフとして、入館者を出迎えたり、館内の利用者を和ませる仕事をしています。また、図書館の各種イベントにも参加して広報活動に貢献し、ひいてはコミュニティ全体の「癒し」となっている猫です。単なる「客寄せ」ではありません。

2009年のデータでは、全米で30以上の図書館で約200匹のLibrary Catが常駐しているそうです。英国では21匹、ヨーロッパでは11匹です。\*注(1)

昔の図書館には鼠がたくさんいたため、西洋では本を守るために、猫が飼われていました。その伝統が現代にも引き継がれているのです。日本では近代になるまで公立図書館がなく、猫が重要な役割を担ってきたという背景がないため、図書館に猫がいて当然というふうには受け止められません。また、衛生面(もしかして保健所からクレームがつく?)やアレルギーのある人への対応、餌代の負担、休館日にはどうするのか、など難しい問題が多いので、少なくとも国公立の図書館では無理でしょう。でも、もしも島大図書館にいてくれたらと想像すると楽しいです。鼠はいないですが、ゴキさんはいっぱいいるので、こちらを担当してもらおうと助かります。職員も休憩時間にちょっと癒しパワーをもらい、学生さんも勉強の合間に和みタイム。さらに「お出迎え」があれば、入館者が倍増するかも。

目録(=Catalog)の略がCATのため、webページのマスコットを猫(cat)にしている図書館も多くあります。(岐阜女子大学の“ぎじょにゃん”等) また、アメリカには「本屋猫」もいて、しっぽで本の埃を払ったりするそうです。

\* (1) Library Cats Map : <http://www.ironfrog.com/catsmap.html>

(MAT)



(みいなちゃん)

かわいい名前をありがとうございます。図書館の職員にも猫好きな人が結構いるんですけど。そういえば作家って猫好きな人が多いですよ。どうしてかしら？



(けんさくくん)

図書館と猫と作家の関係かあ。調べてみるとおもしろいかもしれないなあ。よし、次のレポートはこれでいこう。



(ライム博士)

博士なんて呼ばれると照れるなあ。意外とまだ若いんだよ。いくつに見える？ えっ、30代半ば？ まいったなあー、まだ20代……ん(?)。

猫は犬と違って、基本的に一匹で好きなように行動するから、世話に時間がかからないし、自分の時間や世界を大事にする作家にとって都合がいいのかもしれないね。それに猫の姿やしぐさって、見ているだけで癒されるからねえ。君たちは猫派？犬派？